

Rotary 西尾ロータリー Weekly

2026-27年度 石川会長テーマ -ロータリーで楽しもう-
第3224回例会 令和8年8月25日(火) 天気:晴 No. 5



会長 / 石川 哲朗 幹事 / 岩瀬 正広

クラブ会報委員 金原健志 / 三浦眞澄 / 松本容明

例会日:火曜日 12:30 例会場:西尾コンベンションホール

事務局:西尾市永楽町 3-45 西尾信用金庫中央支店内 204

TEL:0563-54-7770 FAX:0563-54-7050 URL:<https://www.nishio-rotary.org>

2026-2027 年度
RI テーマ

持続可能なインパクトを生み出そう

【本日のプログラム】

司 会 三宅千鶴例会運営委員長 斉 唱 「我等の生業」
プログラム 『西三河分区ガバナー補佐訪問』
ガバナー補佐 榊原 章 君 (西尾KIRARARC)
分区幹事 平山 文生 君 (西尾KIRARARC)
地区副幹事 鏡 哲也 君 (名古屋東RC)
地区スタッフ 陰地 豪 君 (名古屋東RC)
懇 談 会 11:30~12:10
〈出席者〉会長・副会長・幹事・会長エレクト・次期幹事
食 事 12:10~12:30 *ガバナー補佐例会場に移動し一緒に食事
例 会 12:30~13:30 クラブ協議会 13:40~14:40
食 事 寿和



【会長挨拶】



本日はガバナー補佐訪問です。ガバナー補佐は西三河分区9クラブでの持ち回りで、再来年あたりには西尾に回ってくると思いますので、みんなで盛り上げて頑張っていきたいと思います。

ガバナーを輩出するクラブ=力のあるクラブというような印象があると思います。西三河分区9クラブでは、3つのクラブからガバナーを輩出しています。今ここにおられる若い方で「ガバナーを目指す!」という気概がある方が見えたら、頑張ってやっていってほしいと思います。

ガバナー補佐の思い出話をします。私が入ってすぐのIMでは、「子供のために孫のためにゼロエミッションの実践」ということで、西尾市の文化会館で432名を集めて行われました。懇親会も地元の食材を使って残さないということで、私は一色のうなぎを提案し、焼く人も頼んで一つのブースをやりました。若い連中全員で作務衣を着て動き回ったことを鮮明に覚えています。その後、稲垣良次さんがガバナー補佐をされた時には、分区幹事を杉田明弘さん、副幹事として柴田高広さんと私がついて、よく働かせていただきました。

本日はガバナー補佐を迎えていろいろご指導をいただきたいと思います。

【委員会報告】

〈出席委員会〉岡田 雅彦委員長

本日の出席数 60名 欠席数 7名 出席率 89.55%

〈スマイルボックス委員会〉坂田 吉郎委員長

ガバナー補佐 榊原章君、分区幹事 平山文生君、地区副幹事 鏡哲也君、地区スタッフ 陰地豪君ご厚志を頂きました。

石川哲朗君 ガバナー補佐 榊原章君、分区幹事 平山文生君、地区副幹事 鏡哲也君、地区スタッフ 陰地豪君、ようこそいらっしゃいました。今日はよろしくお願いします。

岩瀬正広君 榊原ガバナー補佐、平山分区幹事、鏡地区副幹事、陰地地区スタッフ、今日は大変暑い中、ありがとうございます。長時間になりますがよろしくお願いします。

田中正規君 ガバナー補佐 榊原君、分区幹事 平山君、地区役員 鏡君、陰地君、ようこそ西尾RCに。お世話になります。

三宅千鶴君 榊原ガバナー補佐、平山分区幹事、鏡地区副幹事、陰地地区スタッフ、本日はお忙しい中ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

榊原康正君 榊原章補佐、ようこそ。

朝岡 正君 榊原ガバナー補佐、今日は西尾クラブへようこそ。よろしくお願いします。

三浦眞澄君 よこそ榊原ガバナー補佐。クラブ協議会のご指導宜しくお願いします。

杉田明弘君 榊原ガバナー補佐とは同じ高校を同じ日に卒業して、こんなにも人生の差を付けられました。無念であります。

坂田吉郎君 平山文生先生、妻がいつもお世話になっております。あれよあれよという間にすっかりご立派になられ、まだお若いのに大先生の風格を漂わせておられ、うらやましい限りです。

〔卓話〕

『西三河分区ガバナー補佐訪問』 ガバナー補佐 榊原 章 君



RI会長、オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏本人から「インカ」と呼んでほしいとのことで、インカとお呼びします。私たちが取り組む奉仕活動や会員増強、その他多くの事業は、未来永劫、次世代に継続されるべきものです。4つの重点事業として、ポリオ根絶への継続的な取り組み、平和の推進と対話の活動、会員増強とクラブ体験の充実、インパクトをもたらす奉仕活動を掲げています。インカ会長の意図することを自分なりにまとめると、持続可能なインパクトを生み出すことが大切だということです。進歩は自ずと起こるものではなく、自身の内にある変化から始まります。

それを受け、ガバナーの方針が「元気で、仲良く、楽しく、そして、高潔に。新たな視点からの挑戦」です。すべてのロータリアンが自身の職業を全うし、ロータリー仲間、企業内、そして地域の方々と親睦を深める。思いを具体化する奉仕活動を行い、行動に高潔さを付与するということです。「高潔」とは、損をしても筋を通す人、その場の得より自分の良心や信念を優先することです。嘘をつかない、権力や多数派に流されず正しいと思う道を選ぶ、自分のミスを人のせいにならず自分の責任を考える、小さな約束も守る。これはロータリーの「四つのテスト」に通じることだと思っています。

もう一つの方針が、日本の子供たち、特に愛知の子供たちのために手を差し伸べたいということです。小・中・高校生の自殺の推移や虐待の件数など、日本の子供たちの現状を理解していただき、各クラブの奉仕活動で子供たちへの支援をしていきたいという思いがあります。

今年度はロータリー・ドネーション・フェスタ、RDFが開催されます。ポリオ根絶が最優先ですが、愛知県の子供たちへ行事を通じて寄付をしていきたいということです。大学生や大学の奉仕活動をしている人たち、ボーイスカウトにも協力をお願いし、公共イメージのPR、一般市民へのロータリーのPR、そしてポリオPRをしていきます。

西三河分区では、2月27日にIMを開催します。今後のIMについて、今年度12月の会長・幹事会でアンケートを取り、結果は次年度ガバナー補佐に報告します。また、11月23日にはガバナー補佐杯を開催します。

各ロータリーの計画書を見させていただき、本当に自分が知らないことが多かったと感じました。1年間勉強させてもらいますので、よろしくお願いします。

